

■(マダム)太田花子 俳優。迫真演技に感激したロダンのモデルになり、彫刻「死の首」「空想に耽る女」が制作された。

おおたはなこ

明治維新・1868＝

愛知県中島郡祖父江村で、大百姓で機織業も営む旧家に婿入りした太田八右衛門・うめの長女に生まれる。本名ひさ。

初の日刊新聞1870＝2歳

：妹はまが誕生。あらぬ浮名に困惑した父により、乳母に渡され、名古屋へ別居。隣家の青果商酒井夫婦になつき、年に一度は里帰りさせる条件で、酒井家の養子となるが、

学問のすすめ1872＝4歳

：弟三郎が誕生。

明治6年政変 1873＝5歳

：生来芸事を好む実父の意向で、踊りを習い始め、その後、八雲琴を習い、次妹は浄瑠璃を、三妹は長唄と三味線を、四妹は踊りを習い、それぞれ後に師匠となっている。

初の民間工場1875＝7歳

：弟角次郎が誕生。

西南戦争・1877＝9歳

：養父が相撲狂いで財産を食いつぶし大きな借金を残して家出、困り果てた養母が、近所の女芝居の座主から所望されたのを幸いに、旅芸人の子役に出され、巡業に出るうち、

沖繩県編入・1879＝11歳

：義務教育に通うべく、枇杷島的一座に定着、その女師匠を慕うようになるが、この年、ロダンは「地獄門」を受注し、声価ようやく上がる。「考える人」を制作。

明治14年政変 1881＝13歳

：結局、養母によって、名古屋の妓楼(榎屋)に舞子として売られてしまい、

新体詩抄・1882＝14歳

：この年、ロダンは「ウゴリノ」「落ちる男」等を制作。

岩倉具視没・1883＝15歳

：一人前の芸者となり、

まもなく20も年上の土木工事請負師に身請けされ、

帝国大学始・1886＝18歳

：その子供らとの諍いが絶えず、自殺まで考えるような状況ながら、請負師自身の度量にほだされ、この年、ロダンはレジョン・ド・ヌール勲章を受ける。

初の対等条約1888＝20歳

帝国憲法発布 1889＝21歳

：この間、実家の方も不幸続きで、

足尾鉾毒始・1891＝23歳

：濃尾大地震で実家が倒壊、一家は名古屋へ移って公衆浴場を経営、請負師が築港工事で大阪の役人になり、さらに京都へ転居するのに従ううち、

日清戦争始・1894＝26歳

日清戦争終・1895＝27歳

：10年我慢したが、ついに飛び出して、名古屋の実家に戻る。

実家はのち、岐阜に転居して行く。

ピアノ国産化・1900＝32歳

：この間、請負師との間を仲裁してくれた京都の質屋の若旦那と恋仲になり、

田中正造直訴 1901＝33歳

：この年、ロダンは個人展覧会に「接吻」を出品。横浜に駆落ちするも若旦那は呼び戻され、一人残されて、*思案にくれるうち、汽車の中で知り合った人から、コペンハーゲンの博覧会が、客集めのため、歌や踊りのできる日本人を募っていると聞き、これに応募。横浜を出港、コペンハーゲンの舞台で踊るうち、ヨーロッパの街に親しみ、人前で演じることに快感を覚え、この地で一旗あげたいと、そのままどまり、同じ船で来た日本人夫婦の経営する店を手伝ううち、夫婦はニューヨークに移住、その経営を引継ぐが、

日露戦争始・1904＝36歳

：この年、ロダンは「考える人」を出品。日露戦争勃発で廃業に追い込まれ、下宿屋をして凌ぐうち、ドイツ人の興行師が来て、デュッセルドルフの博覧会に松旭斎天一・天勝を抱えたが、天勝が病気のため代わりに出てくれないかといわれ、一座16人の座頭となって「武士道」という芝居を演じて成功、この興業主と一年契約を結び、ドイツ巡業。コンスタンチノーブルまで巡る。

日露戦争終・1905＝37歳

：契約終了後ロンドンで独立興業旗上げするも、所詮無理であったが、劇そのものは好評で、なんとか工夫するうち、サヴォイ劇場で興業する機会を得、女性興業師ロイ・フラーに見出され、花子一座を結成、*北欧から南仏まで巡業。一座がマルセイユ博覧会で興行した際、花子の切腹するときの迫真の表情に打たれたロダンは「死の首」を制作したいのでモデルになってほしいと頼まれ、毎日迎える馬車でアトリエに通う。給金支払いでフラーとこじれ、一座は解散、通訳・渉外係だった吉川馨と結婚。

満鉄発足・1906＝38歳

韓国反日暴動 1907＝39歳

：花子一座を再結成し、第一回アメリカ巡業すると好評で、

アヲヲ`創刊` 1908＝40歳

：*「死の首」完成後、欧州一円を巡業して大成功。

伊藤博文暗殺 1909＝41歳

：第二回米国巡業は失敗に終わるが、セーリキ・ブラフと一年八カ月の契約を結び、オーストリア、ドイツ、東欧を巡業し大成功となる間、夫がベルリンで病死。ロダンは「死の首」を発表し、刺激された森鷗外が短編小説「花子」を発表。ロダンはさらに「空想に耽る女」も完成し、発表。オーストリアのシイラ、オデッサのデフノブと契約し、イタリアから欧州一円、ロシア巡業するうち、

明治天皇没・1912＝44歳

大正政変・1913＝45歳

：第一次大戦が勃発し、ロダン夫妻とロンドンへ避難。

一次大戦始・1914＝46歳

：アンバサダーズ劇場で長期公演。慈善興業に同輩も出演。ロダン、イタリアへ旅行。

21ヶ条要求・1915＝47歳

：戦況悪化で、日本へ芸人を抱えに一時帰国。

民本主義・1916＝48歳

：再渡英、航海途上、前を行く船がドイツの潜水艦に撃沈されるのを見て衝撃。ロンドンで日本料理店(湖月)開業。雑誌(新日本)に「芸者で洋行し女優で帰る迄の廿年」掲載。*ロダン夫人、続いてロダンが死去。

ロシア革命・1917＝49歳

：芸人を抱えて渡英し、巡業を再開。*フランス政府と交渉し、「空想に耽ける女」入手。

本格政党内閣 1918＝50歳

：*「死の首」も入手して、帰国。

原敬首相暗殺 1921＝53歳

水平社結成・1922＝54歳

：岐阜で芸妓置屋を営む三妹の元に身を寄せ、以後、芸事から身を引き、

護憲三派圧勝 1924＝56歳

：「死の首」「空想に耽ける女」が、東京美術学校へ預けられる。

治安維持法・1925＝57歳

：(岐阜日日新聞)で「美術品としてのロダンのモデルとなったお花さんの話」連載。

金融恐慌・1927＝59歳

：弟角次郎の長男英雄を養子縁組。*高村光太郎が来訪。ロダンの彫刻のモデルだったことから、この前後、多くの芸術家や作家が来訪。

満州事変・1931＝63歳

帝人疑獄事件 1934＝66歳

：孫の正子が誕生。

日中戦争始・1937＝69歳

大政翼賛会・1940＝72歳

：(名古屋新聞)岐阜県版に、談話「陥落のパリへ淡い夢へさすドイツは強い」が掲載される。

日米開戦・1941＝73歳

：「死の首」「空想に耽ける女」が赤塚秀雄氏の手に乗ねられる。

敗戦・1945＝77歳

：岐阜市西園町にて丹毒により、没した。